



DataScientist Society

# データサイエンティストの 採用に関するアンケート

2022年3月31日

一般社団法人 データサイエンティスト協会

調査・研究委員会

## データサイエンティストの採用に関するアンケート

調査対象 : 日本国内一般企業（人事担当者向け）  
※従業員30名以上の企業を対象に、  
企業規模別にランダム抽出

調査手法 : 郵送またはWeb

調査期間 : 2021年9月10日～10月21日

有効回答数 : 計333社（発送5,400社、回収率6.2%）  
※郵送140社、Web193社

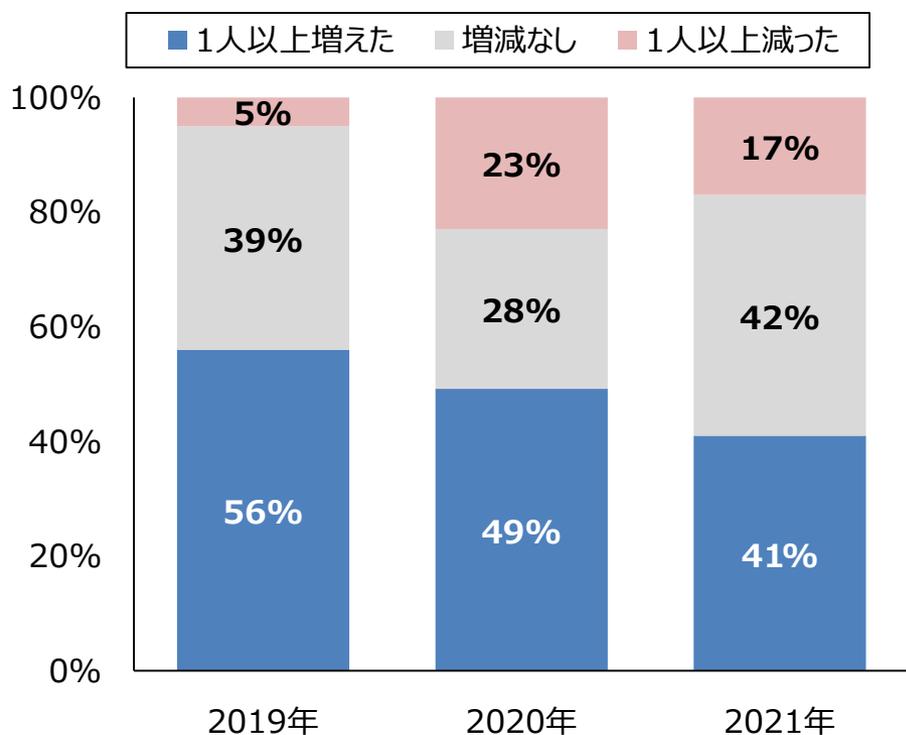
注：本調査資料の百分率表示は小数点以下を四捨五入しているため、  
合計しても100%とならない場合がございます。

# データサイエンティスト人材の増減と内訳

Q. データサイエンティスト人材の増減と、増やした人数の増員方法をお答えください。

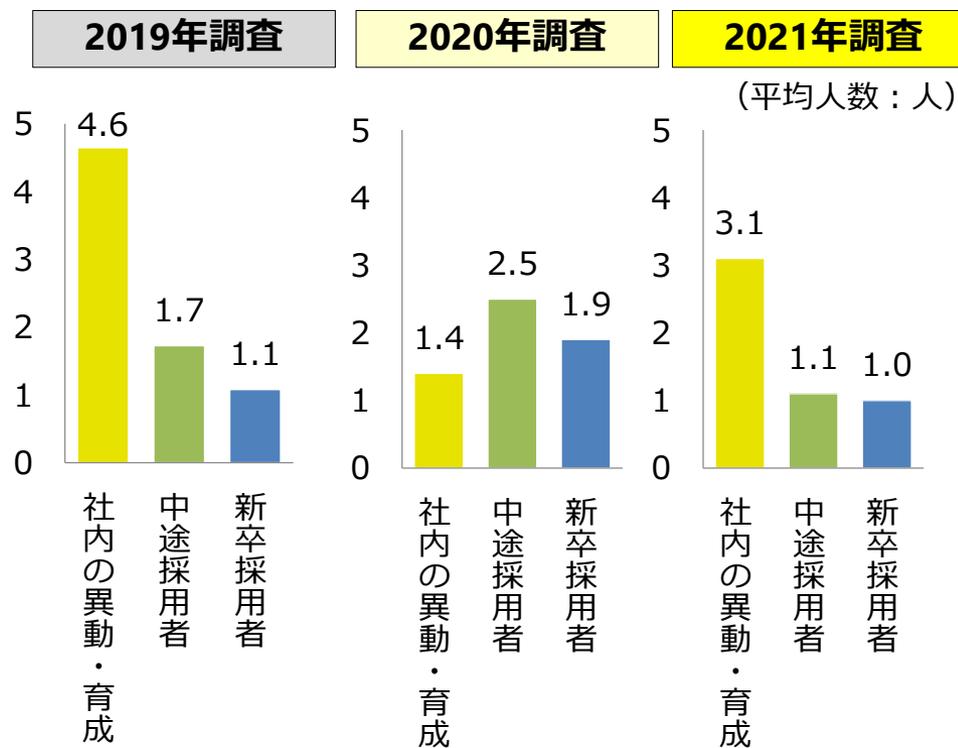
## この1年でデータサイエンティストを増やした企業は41% 内訳では、社内での異動・育成が増加している

### 直近1年間でのデータサイエンティストの増減



データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業  
(2019 n=82, 2020 n=61, 2021 n=69)

### 直近1年間で増えたデータサイエンティストの内訳



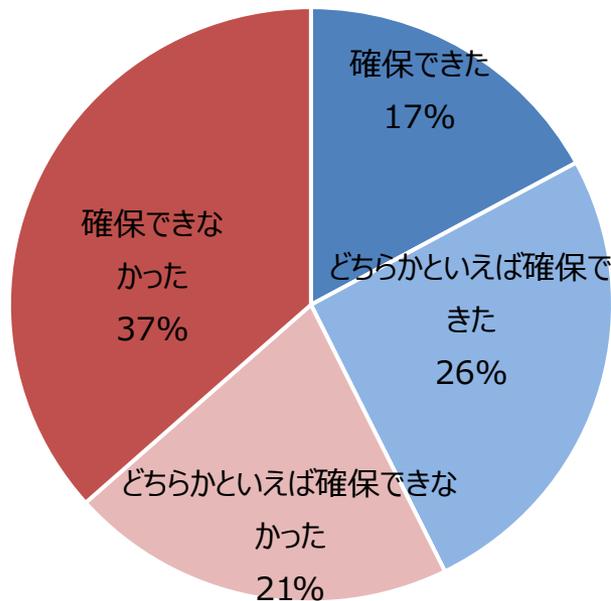
データサイエンティストの在籍者が1人以上で、直近1年間で1人以上増員があった企業(2019 n=52, 2020 n=30, 2021 n=28)

# データサイエンティスト採用の充足度

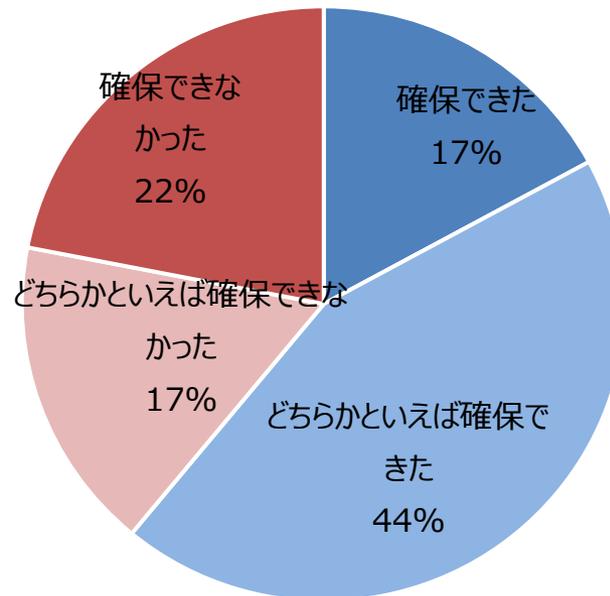
Q. この1年間で、貴社が目標としていた人数のデータサイエンティストを確保できましたか。(SA)

## 2021年は、データサイエンティストを 目標通り確保できなかった企業が62%と増加

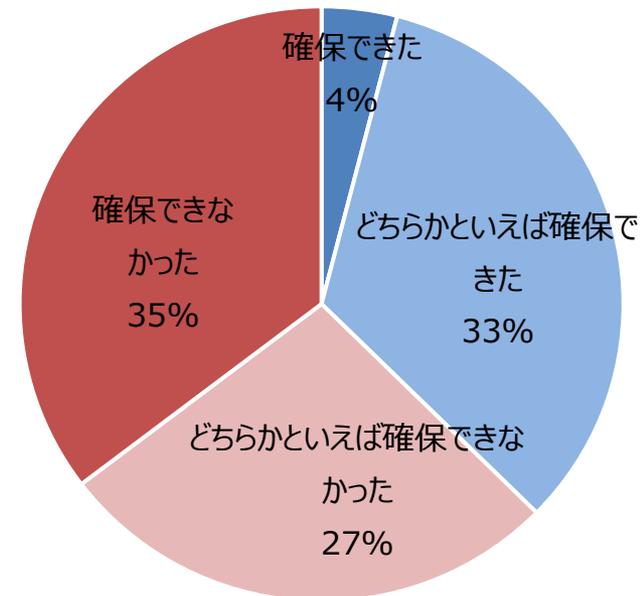
2019年調査



2020年調査



2021年調査



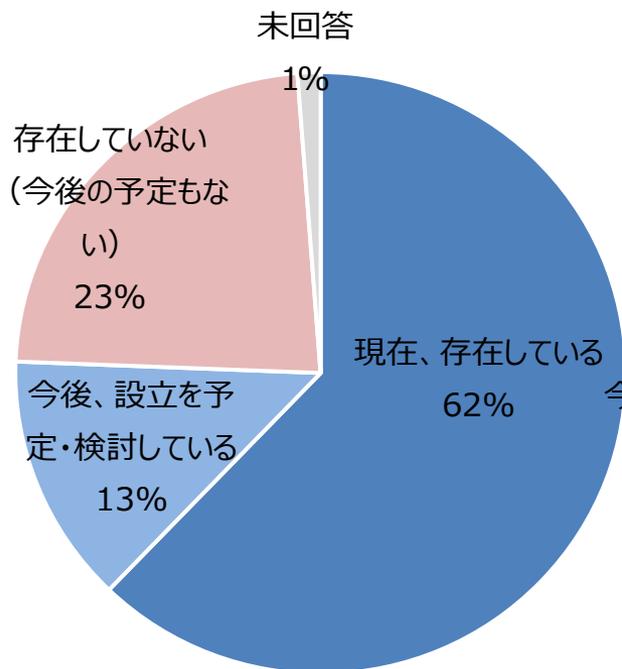
この1年間でデータサイエンティストを確保する予定だった企業(2019 n=82, 2020 n=41, 2021 n=51)

# 「データサイエンス」に関する専門の部署やチームの存在

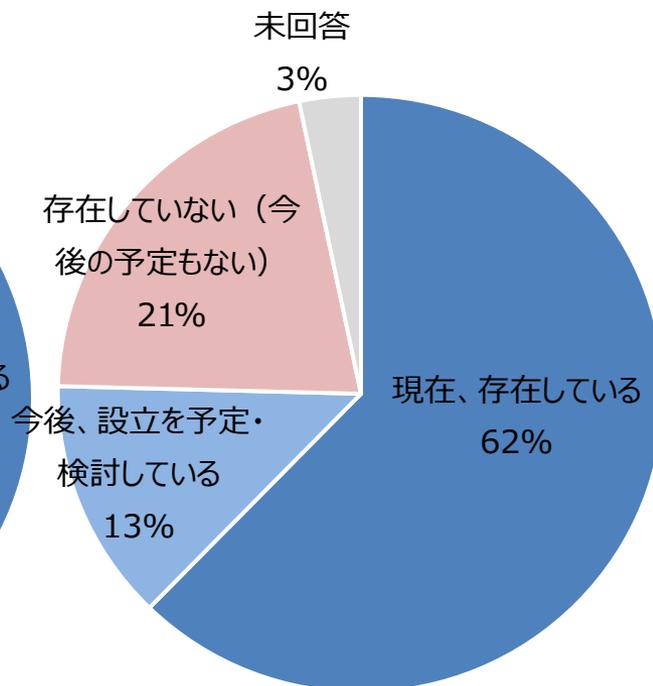
Q. 貴社では「データサイエンス」に関する専門の部署やチームがありますか。(SA)

## データサイエンスの専門部署が存在する企業は減少傾向、すべての部署の内部で解決するニーズが高まった可能性

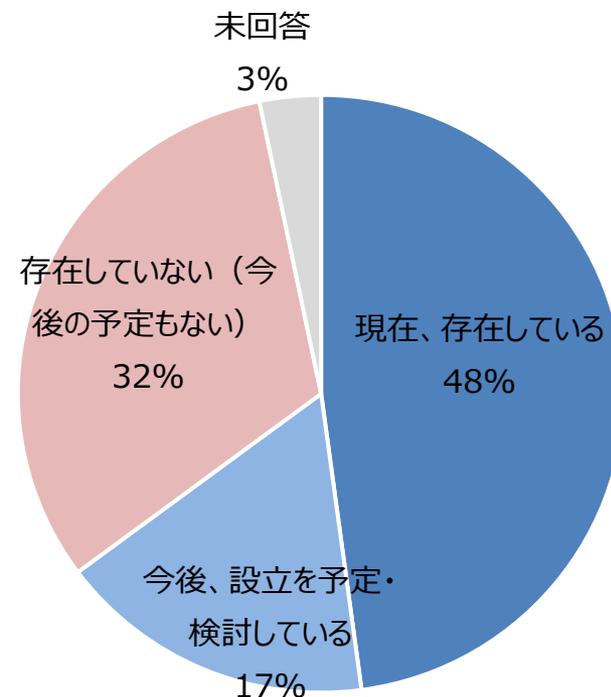
2019年調査



2020年調査



2021年調査

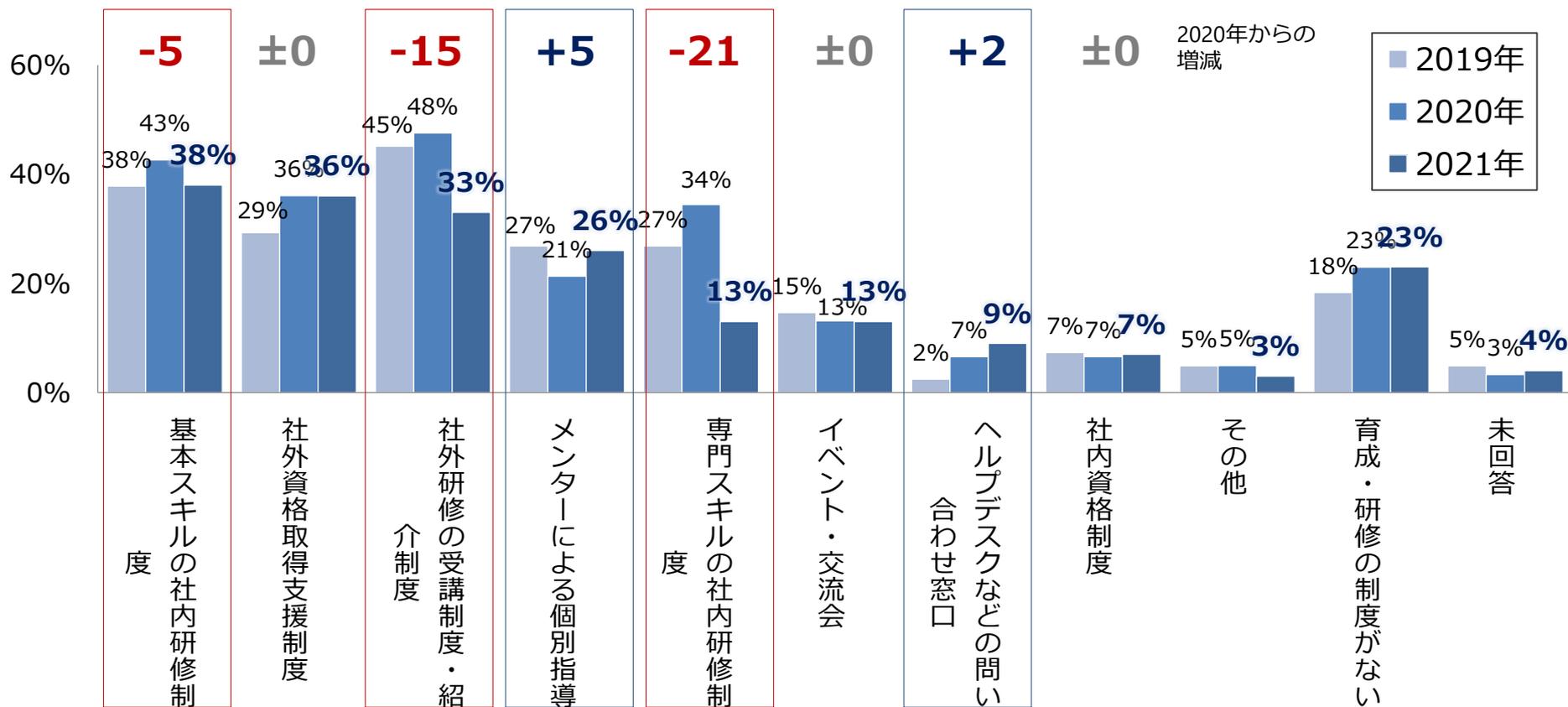


データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(2019 n=82, 2020 n=61, 2021 n=69)

# データサイエンティスト人材の育成・研修制度

Q. データサイエンティスト人材の育成・研修の制度として貴社内にあるものをすべてお答えください。(MA)

## コロナ禍の影響もあってか、研修関連が減少、 メンターによる個別指導や問合せ窓口は増加

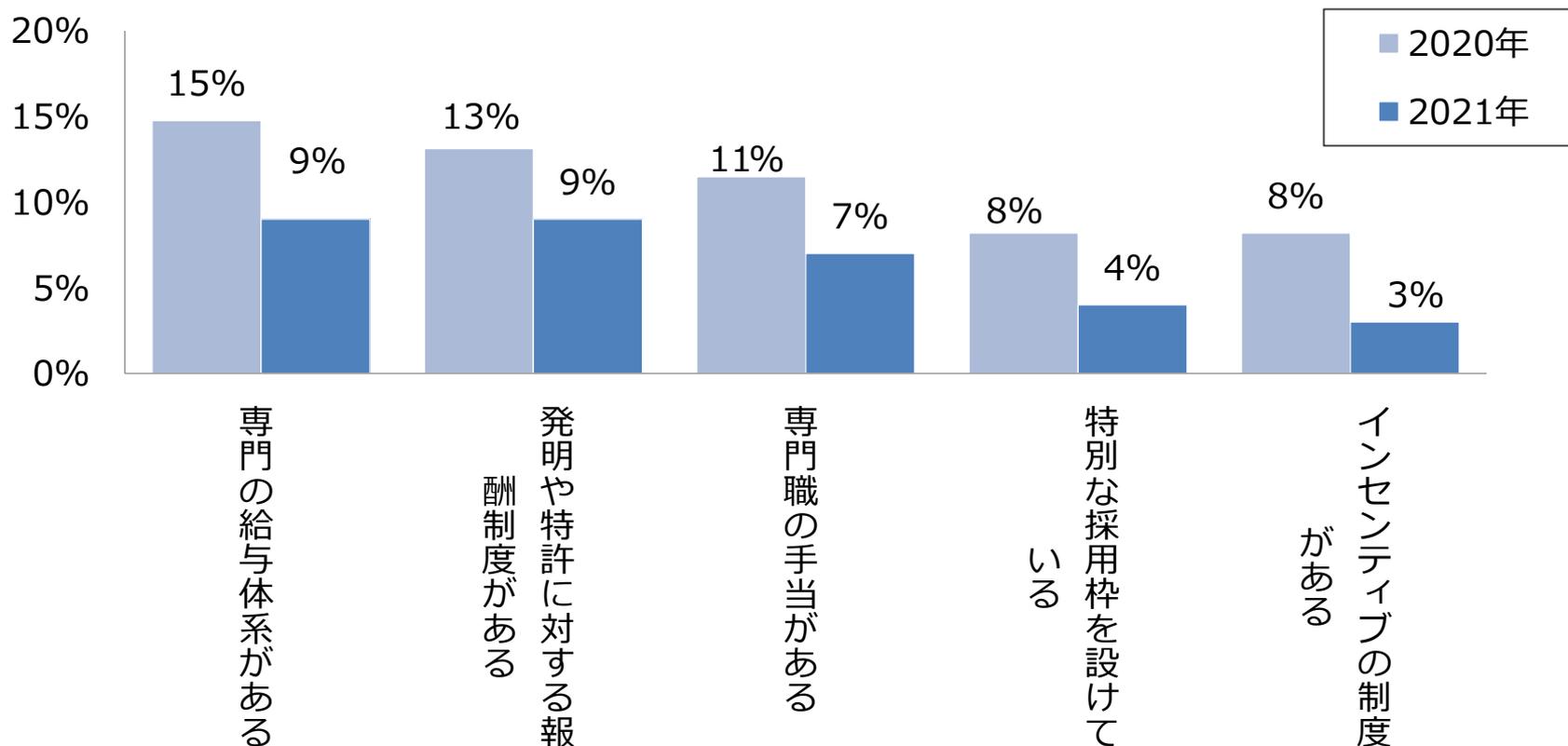


データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(2019 n=82, 2020 n=61, 2021 n=69)

# データサイエンティスト人材の職種体系、給与体系

Q.データサイエンティストの職種体系、給与体系などについて、貴社内にあるものをすべてお答えください。(MA)

## データサイエンティスト人材の職種体系、給与体系を 確立している企業はまだ少ない



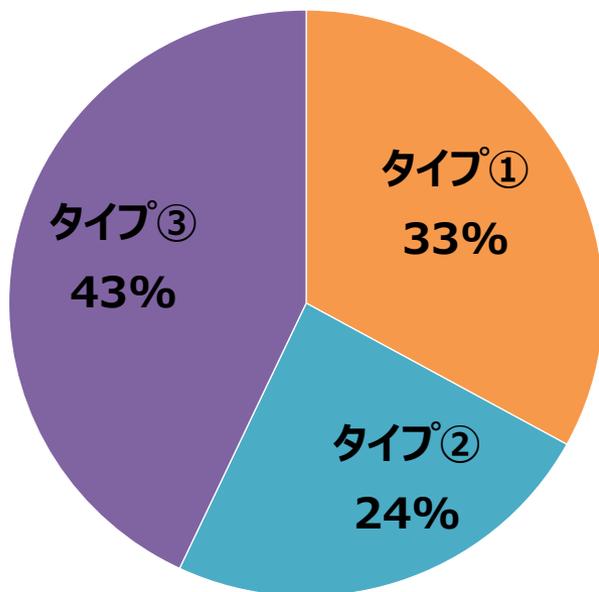
データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(2020 n=61, 2021 n=69)

# 在籍するデータサイエンティストのタイプ別内訳

Q. 貴社のデータサイエンティストについて、タイプ別の内訳をお答えください。

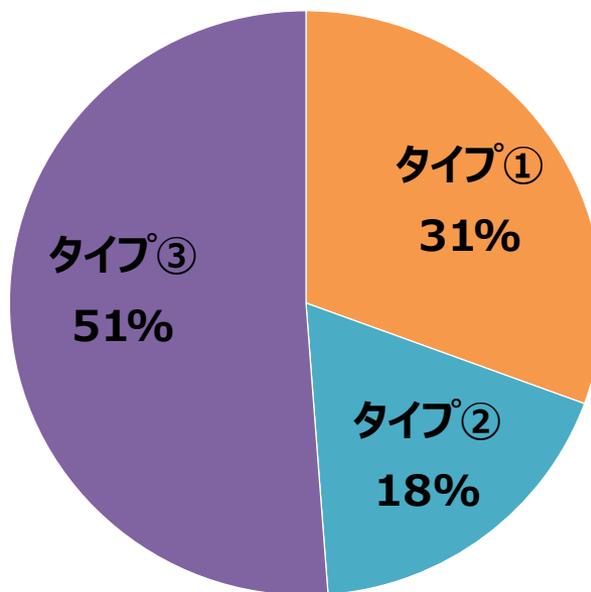
## 2021年調査では、ビジネスタイプ(38%)とデータサイエンスタイプ(24%)の割合が増加

2019年調査



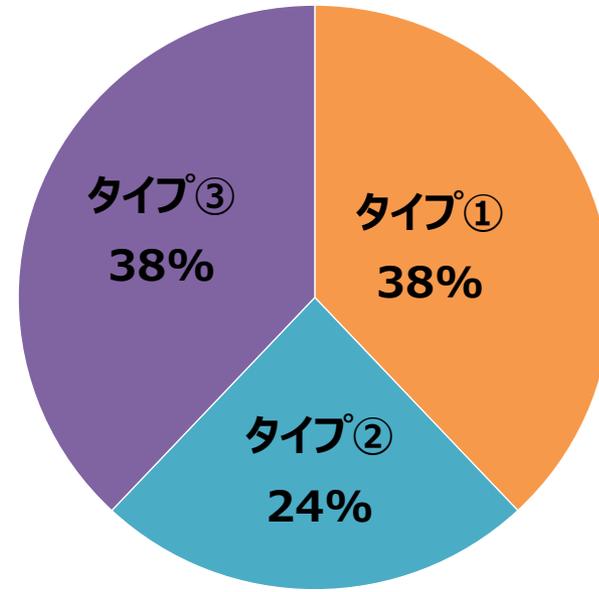
**タイプ①**  
ビジネス課題を抽出し、データを分析・活用して課題を解決できる人材  
(職種の例：データマーケターなど)

2020年調査



**タイプ②**  
統計学、人工知能などの情報科学系の知識を理解し、統計ソフトなどを用いた専門的な分析ができる人材  
(職種の例：データアナリストなど)

2021年調査



**タイプ③**  
データ分析を目的とし、プログラミング知識を使ってデータの収集、加工やシステムへの実装、運用ができる人材  
(職種の例：データエンジニアなど)

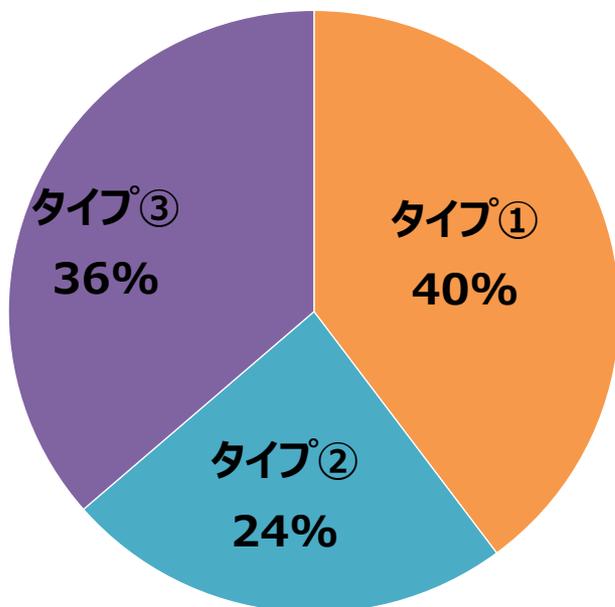
データサイエンティスト在籍者が1人以上で、タイプ別の回答があった企業(2019 n=70, 2020 n=52, 2021 n=60)

# 今後増員したいデータサイエンティストのタイプ別内訳

Q. 今後3年間で、データサイエンティストを何名程度増やす予定ですか。タイプ別にお答えください。

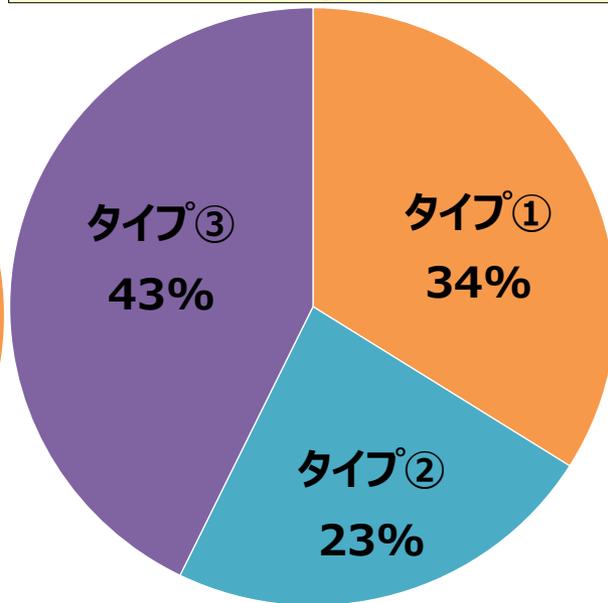
## 今後増員したいDSタイプとしても、 ビジネスタイプが36%と最も高くなった

2019年調査



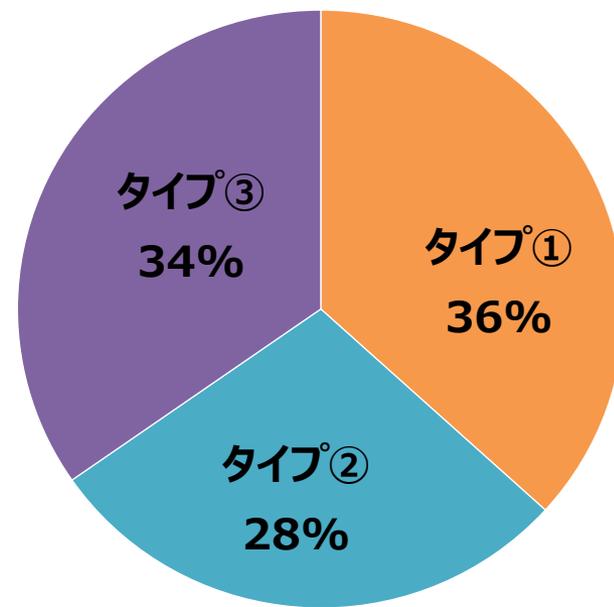
**タイプ①**  
ビジネス課題を抽出し、データを分析・活用して課題を解決できる人材  
(職種の例：データマーケティングなど)

2020年調査



**タイプ②**  
統計学、人工知能などの情報科学系の知識を理解し、統計ソフトなどを用いた専門的な分析ができる人材  
(職種の例：データアナリストなど)

2021年調査



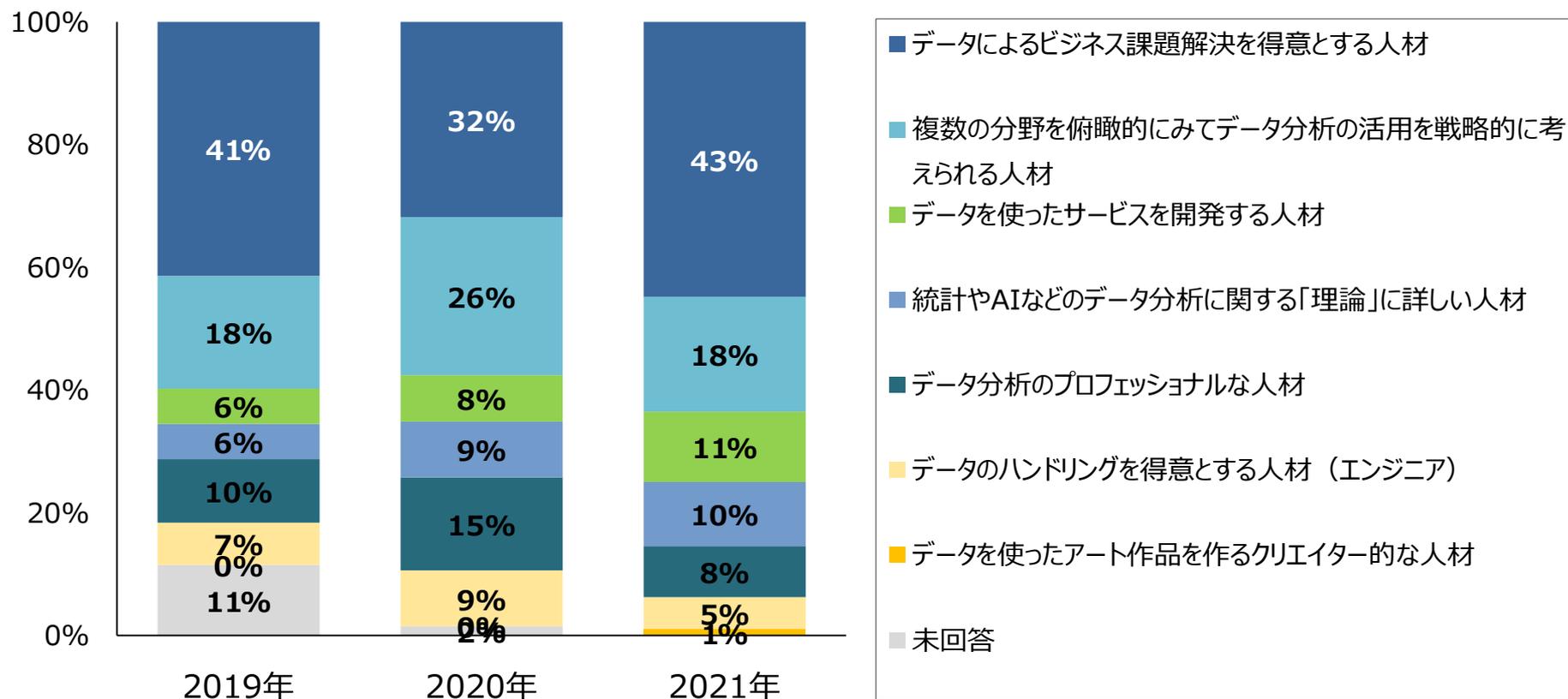
**タイプ③**  
データ分析を目的とし、プログラミング知識を使ってデータの収集、加工やシステムへの実装、運用ができる人材  
(職種の例：データエンジニアなど)

今後3年間でデータサイエンティストを1人以上増員予定で、タイプ別の回答があった企業(2019 n=71, 2020 n=53, 2021 n=75)

# 今後3年間で採用・育成したいデータサイエンティストの人材像

Q.今後3年間で、貴社が採用・育成したいデータサイエンティストの人材像をお答えください。(SA)

## 採用・育成したいDSの人材像としては、ビジネス課題解決人材が最も多く43%、サービス開発人材のニーズも拡大



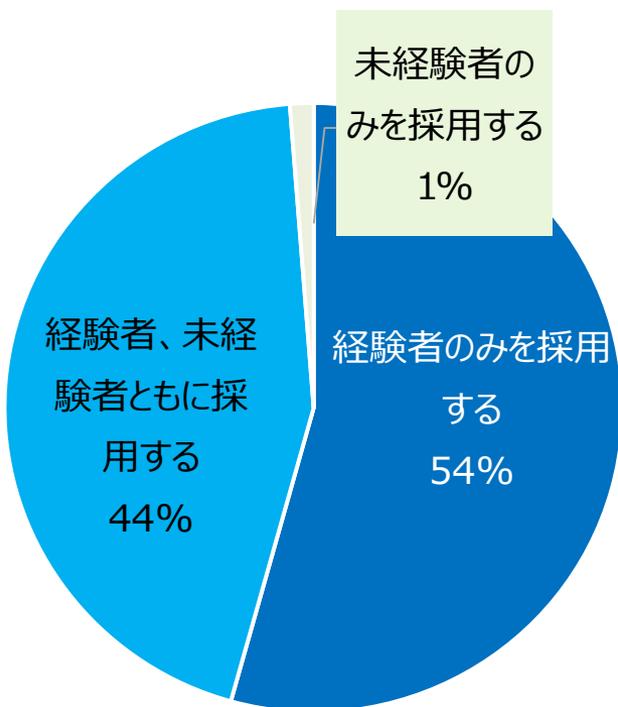
今後3年間で、データサイエンティストを1人以上増員予定の企業(2019 n=88, 2020 n=66, 2021 n=83)

# 今後3年間で採用・育成したいデータサイエンティストの人材像

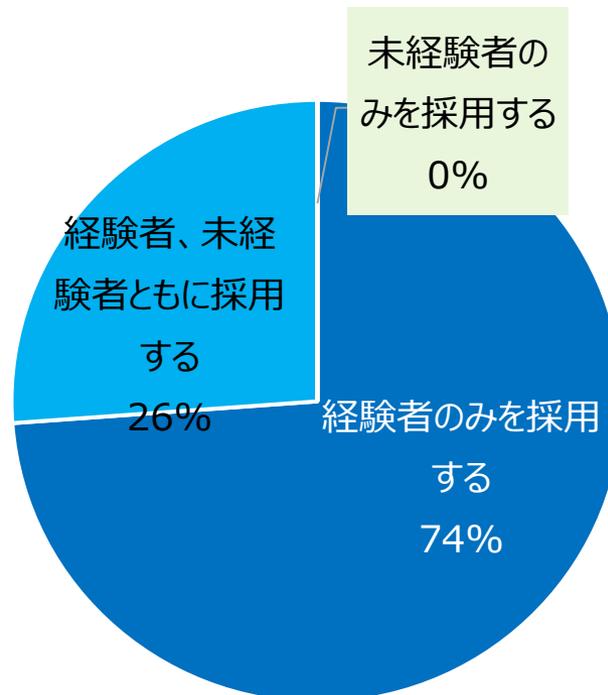
Q.データサイエンティストの中途採用者について、どのような人材を採用する方針ですか。(SA)

## 「経験者のみ」採用する企業の割合が72%と、 依然として高い割合を占める

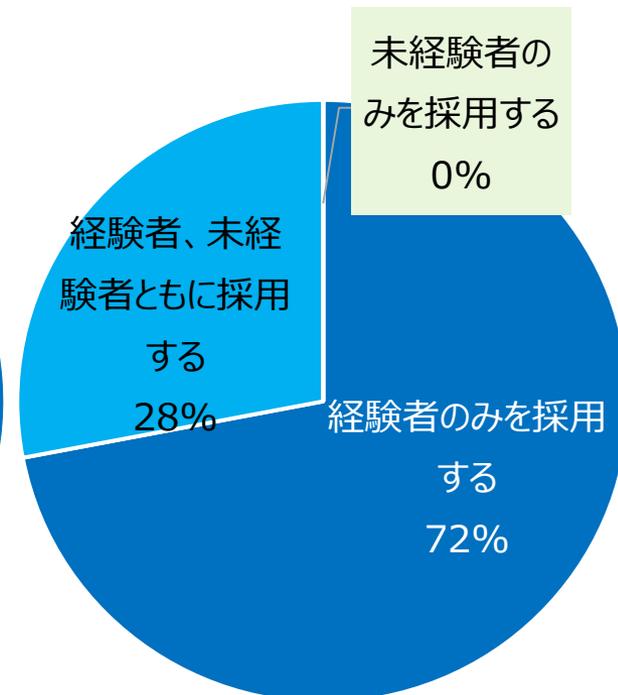
2019年調査



2020年調査



2021年調査



データサイエンティストの中途採用を予定している企業(2019 n=81, 2020 n=65, 2021 n=90)

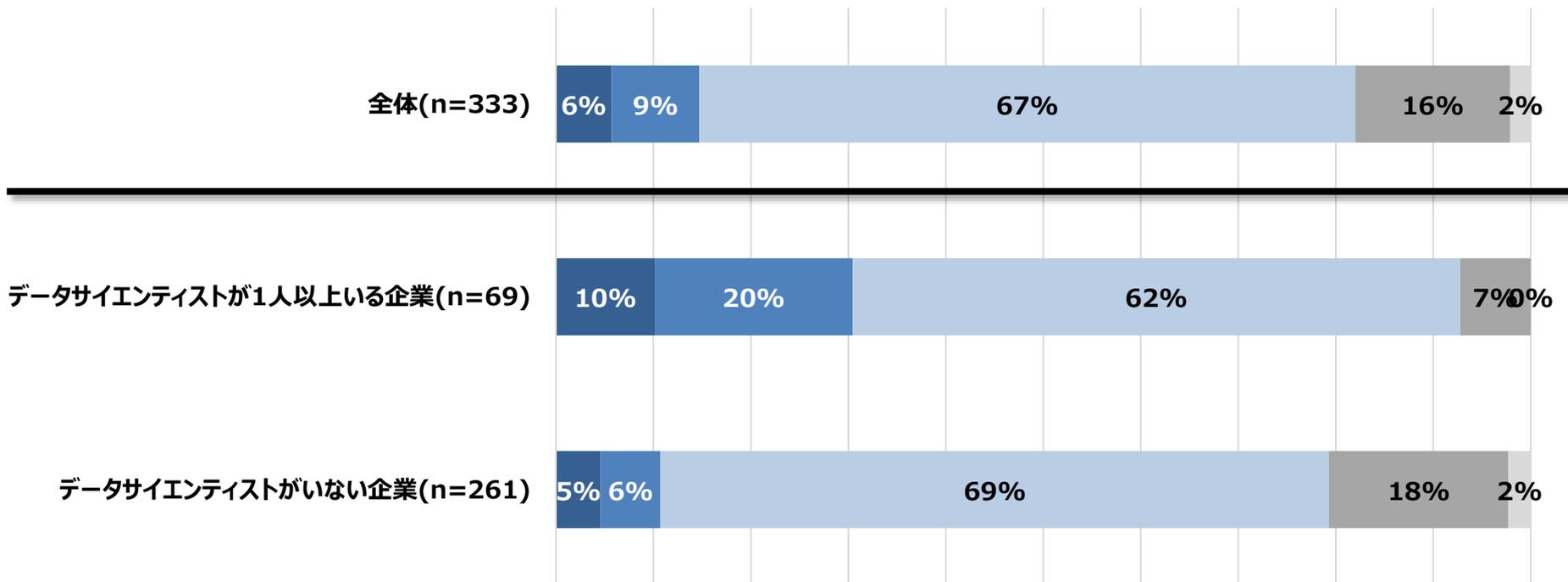
# データ分析業務の外部委託状況

Q. 貴社では「データの分析・解析」の業務を外部委託していますか。(SA)

## データ分析業務を外部委託しているのは全体の15% データサイエンティストがいる企業の方が委託も多い

■ 定期的に委託している ■ たまに委託している ■ ほとんど委託していない ■ よくわからない ■ 未回答

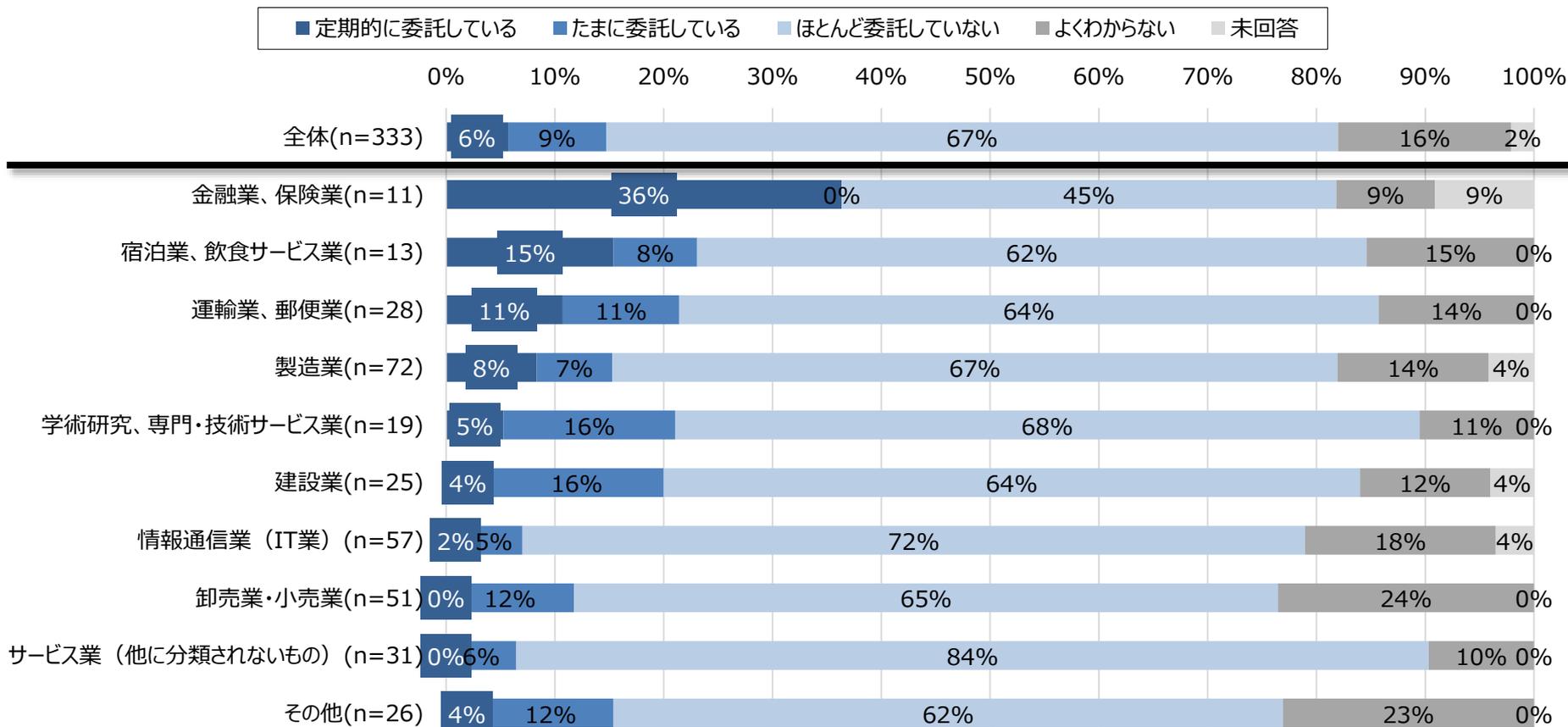
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



# データ分析業務の外部委託状況（業種別）

Q. 貴社では「データの分析・解析」の業務を外部委託していますか。（SA）

## 外部委託は業種差もあり、金融・保険では36%、 宿泊・飲食サービス業では15%が定期的に委託している



## この1年でDSを増やした企業は41%。調達は、内部育成に再びシフト。

- コロナ禍でも需要強く、この1年でDSを増やした企業は41%。(減らした企業は17%)
- 昨年は中途・新卒採用が増えたが、今年は再び社内での異動・育成が強まった。

## DSを目標通り確保できなかった企業が62%に増加。一部企業は外部委託も。

- DSを採用しようとしていた企業のうち62%が目標数を確保できなかった。
- 人手不足からか、DSがいる企業の30%はデータ分析業務の一部を外部委託している。

## ビジネス課題解決人材、かつ即戦力となるような人材へのニーズが引き続き高い。

- 今後増員したいDSのタイプは、ビジネスタイプが最も多く36%
- 採用したい人材像として、ビジネス課題解決人材が43%と過去最高。
- DS中途採用は「経験者のみ」が依然として72%と高く、即戦力人材が求められている。